



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和6年度  
地域整備方向検討調査  
耳納山麓地域整備水準検討業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域整備水準検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S63003	資料の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)	3.000	人	38,400	115,200	
	合 計				557,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		557,400	
	*** S単一 2号 ***					
S63003	現況受益面積 (畑) の整理		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	9.00人				
	6)技師Cの人数	12.00人				
	7)技術員の数	15.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)	5.000	人	57,000	285,000	
R04005	技師 (B)	9.000	人	47,200	424,800	
R04006	技師 (C)	12.000	人	38,400	460,800	
R04007	技術員	15.000	人	33,600	504,000	
	合 計				1,804,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,804,200	
	*** S単一 3号 ***					
S63003	計画基準の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	12.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	4.000	人	64,800	259,200	
R04004	技師 (A)	8.000	人	57,000	456,000	
R04005	技師 (B)	12.000	人	47,200	566,400	
R04006	技師 (C)	8.000	人	38,400	307,200	
	合 計				1,588,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,588,800	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域整備水準検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 4号 ***					
S63003	設置基準の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	8.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	20.00人				
	5)技師Bの人数	25.00人				
	6)技師Cの人数	35.00人				
	7)技術員の数	35.00人				
R04003	主任技師	8.000	人	64,800	518,400	
R04004	技師 (A)	20.000	人	57,000	1,140,000	
R04005	技師 (B)	25.000	人	47,200	1,180,000	
R04006	技師 (C)	35.000	人	38,400	1,344,000	
R04007	技術員	35.000	人	33,600	1,176,000	
	合 計				5,358,400	算出数量 1,000 式
	単 価		式		5,358,400	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	整備水準の策定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)	6.000	人	57,000	342,000	
R04005	技師 (B)	8.000	人	47,200	377,600	
R04006	技師 (C)	4.000	人	38,400	153,600	
	合 計				1,067,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,067,600	
	*** S単- 6号 ***					
S63003	照査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
	合 計				194,400	算出数量 1,000 式
	単 価		式		194,400	
	*** S単- 7号 ***					
S63003	点検とりまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域整備水準検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員					
		2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				502,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		502,800	
	*** S単一 8号 ***					
S63007	現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業					
		3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A) 外業					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B) 外業					
		3.000	人	47,200	141,600	
	合 計				507,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		507,000	
	*** S単一 9号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.66人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.66人				
	5)技師Bの人数	0.66人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業					
		0.660	人	64,800	42,768	
R04004	技師 (A) 外業					
		0.660	人	57,000	37,620	
R04005	技師 (B) 外業					
		0.660	人	47,200	31,152	
	合 計				111,540	算出数量 1.000 式
	単 価		式		111,540	
	*** S単一 10号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.2			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	日			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				

事業名	地域整備方向検討調査
業務名	耳納山麓地域整備水準検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師					
		0.700	人	64,800	45,360	
R04004	技師 (A)					
		0.700	人	57,000	39,900	
	合 計				85,260	算出数量 1.000 回
	単 価		回		85,260	
	*** S単一 11号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04004	技師 (A)					
		0.700	人	57,000	39,900	
R04005	技師 (B)					
		0.700	人	47,200	33,040	
	合 計				72,940	算出数量 1.000 回
	単 価		回		72,940	
	*** S単一 12号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,, L<100km (100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.20日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金 (税別)	1,562円				
	15)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L<100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き					
		2.000	人	1,562	3,124	
	合 計				3,124	算出数量 1.000 回
	単 価		回		3,124	
	*** S単一 13号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,L<100km (100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5) 技師 B 配置人員	1 人				
	6) 技師 C 配置人員	0 人				
	7) 打合せ日数	0.50 日				
	8) 往復移動日数	0.20 日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	一般交通機関				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	0 円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	1,562 円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0 円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0 円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0 円				
	18) ライトバン使用日数	0 日				
	20) 往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2.000	人	1,562	3,124	
	合 計				3,124	算出数量 1.000 回
	単 価		回		3,124	
	*** S 単－ 14号 ***					
S63018	旅費交通費 (設計外業日帰用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用) ライトバン, 3日, 2時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 交通機関区分	ライトバン		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 高速道路往復料金 (税別)	3,162 円		深夜時間: 0.0		
	3) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0 円				
	4) バス往復1人当料金 (税別)	0 円				
	5) 船舶往復1人当料金 (税別)	0 円				
	6) 航空往復1人当料金 (税別)	0 円				
	7) ライトバン使用日数の入力	3 日				
	8) 時間区分	2時間				
	9) 設計用技師長外業日数	0.000 日				
	10) 設計用主任技師外業日数	3.000 日				
	11) 設計用技師 A 外業日数	3.000 日				
	12) 設計用技師 B 外業日数	3.000 日				
	13) 設計用技師 C 外業日数	0.000 日				
	14) 設計用技術員外業日数	0.000 日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	3.000	式	3,162	9,486	
M28121	ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	3.000	日	1,650	4,950	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	16.200	L	157	2,543	
	合 計				16,979	算出数量 1.000 式
	単 価		式		16,979	
	*** S 単－ 15号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A－4, 500, 8cm, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 報告書部数 (部)	1.000		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 規格区分	A－4		深夜時間: 0.0		
	3) 枚数区分 (枚)	500				
	4) 厚さ区分	8cm				
	5) CD-R枚数 (枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代 (コピー) A－4 以下 500 枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43543	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅8cm (チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	695	695	
P43602	C D－R C D－R (記録面色素フタロシアニン) 700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				7,445	算出数量 1.000 式
	単 価		式		7,445	

令和6年度地域整備方向検討調査  
耳納山麓地域整備水準検討業務

特 別 仕 様 書

九 州 農 政 局  
北部九州土地改良調査管理事務所



## 第1章 総 則

(適用範囲)

### 第1-1条

令和6年度地域整備方向検討調査 耳納山麓地域整備水準検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

### 第1-2条

本業務は、国営耳納山麓土地改良事業(以下「耳納山麓事業」という。)の受益面積整理の一環として、畑の末端かんがい施設を給水スタンドとすることによる計画基準(案)及び設置基準(案)を策定するものである。

(場所)

### 第1-3条

本業務において対象とする位置は、福岡県久留米市及びうきは市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立ち入り等)

### 第1-4条

作業実施のための土地の立ち入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可なく土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(一般事項)

### 第1-5条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。
- (3) 受注者は、業務内容を把握し業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

### 第1-6条

- (1) 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士、畑地かんがい技士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学

博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(照査技術者)

#### 第 1－7 条

- (1) 照査技術者は、共通仕様書第 1－7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士、畑地かんがい技士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- (2) 共通仕様書第 1－7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目は次のとおりとする。

- 1) 業務計画作成時
- 2) 現況受益面積（畑）の整理時
- 3) 計画基準・設置基準の検討時
- 4) 整備水準の策定時
- 5) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

- (3) 当該業務の中で、照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

#### 第 1－8 条

担当技術者は、共通仕様書第 1－8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

#### 第 1－9 条

共通仕様書第 1－11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び相当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

#### 第 1－10 条

受注者は、共通仕様書第 1－37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

(適用する図書)

### 第2-1条

本業務の基本的事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用する。

なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	制定(改訂)年月
1	土地改良事業計画設計基準・計画「農業用水(畑)」	平成27年5月
2	土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」	令和3年6月
3	土地改良事業計画設計基準・設計「ポンプ場」	平成30年5月
4	土地改良事業計画設計指針「ファームポンド」	平成11年3月

(設計基本条件)

### 第2-2条

本業務の作業における基本条件は以下のとおりである。

- (1) 本業務で対象とする地区の受益面積(田)は約2,000ha、受益面積(畑)は約1,500haを想定している。

(参考図書)

### 第2-3条

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業 計画研究会	平成15年8月
2	国営土地改良事業調査計画マニュアル	(一社)農業土木 事業協会	平成5年3月

(貸与資料等)

### 第2-4条

貸与資料は、次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	国営土地改良事業「耳納山麓地区」事業成績書及び事業誌	1式
2	平成30年度 国営施設応急対策事業 耳納山麓地区土地利用状況調査その他業務 報告書	1式
3	令和元年度 国営造成施設緊急整備対策調査 耳納山麓地区一定地域整理及び経済効果算定業務 報告書	1式
4	令和3年度 国営施設応急対策事業 耳納山麓地区土地利用状況調査その他業務 報告書	1式
5	給水スタンド整備にかかる他地区事例及び地区内設置事例	1式

また、上記以外に必要な資料がある場合は、監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

## 第2-5条

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査まで一括返納しなければならない。

(関連業務)

## 第2-6条

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、お互いに協調の図られた成果としなければならない。

番号	業 務 名	業務実施期間
1	令和6年度 地域整備方向検討調査 耳納山麓地域用水実態調査業務（仮称）	令和6年4月 ～令和7年1月（予定）
2	令和6年度 地域整備方向検討調査 耳納山麓地域事業効果検討他業務（仮称）	令和6年9月 ～令和7年3月（予定）

## 第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

### 第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は別紙「作業項目内訳表」のとおりである。

作業項目	数量	備 考
1. 準備作業	1 式	
2. 現況受益面積（畑）の整理	1 式	
3. 計画基準の検討	1 式	
4. 設置基準の検討	1 式	
5. 整備水準の策定	1 式	
6. 照査	1 式	
7. 点検とりまとめ	1 式	

(作業の留意点)

### 第3-2条

本業務の実施に際し、特に留意する点は次のとおりである。

- (1) 設置基準の検討にあたっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (2) 電算機を使用する場合には、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

- (3) 第2－3条、第2－4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (4) 設置基準の検討にあたっては、新技術や新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
- ・ 農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、  
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
  - ・ 新技術情報システム（NETIS）は  
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
- (5) 共通仕様書第1－11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

## 第4章 業務管理

（情報共有システム）

### 第4－1条

- (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- (2) 情報共有システムは「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省 Web サイト参照）によるものとする。
- (3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

## 第5章 打合せ

（打合せ）

### 第5－1条

共通仕様書第1－10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（現況受益面積（畑）の整理段階）

第3回 中間打合せ（計画基準・設置基準の検討段階）

第4回 中間打合せ（整備水準の策定段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

## 第6章 成果物

(成果物)

### 第6-1条

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R）正副2部
- 2 成果物の出力（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）1部

(成果物の提出先)

### 第6-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口 891-20

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

## 第7章 契約変更

(契約変更)

### 第7-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「設計基本条件」に変更が生じた場合
- (2) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (3) 第5-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (4) 第6-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (5) 履行期間の変更が生じた場合
- (6) 関係機関等対外協議等により業務計画に変更が生じた場合
- (7) その他

## 第8章 定めなき事項

(定めなき事項)

### 第8-1条

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙「作業項目内訳表」

作業項目	作業内容	数量
1. 準備作業		
1-1. 現地調査	本地区の地形、地質、河川、主要施設の位置、受益地内の土地利用及び用排水状況等について、作業実施に必要な現地調査を行う。	1 式
1-2. 資料の検討	貸与資料及び既存資料を収集・整理し、本業務実施のための作業計画を樹立する。	1 式
2. 現況受益面積（畑）の整理	関係機関が所有する一筆台帳を基に現況の受益面積（畑）を整理し受益地を着色した平面図を作成する。	1 式
3. 計画基準の検討	計画基準上のかんがい施設の位置付けを整理し、給水スタンドをかんがい施設として位置付けるための課題を抽出し、解決方策を整理する。	1 式
4. 設置基準の検討	<p>耳納山麓事業の受益面積（畑）のうち、末端かんがい施設未整備の地域に給水スタンドを整備するため、他地区事例や地区内の設置事例などを参考に、最適な設置位置や設置密度を検討する。</p> <p>また、設置エリア毎に概算整備費用の算出及び設置計画平面図作成を行う。</p> <p>本検討には、水頭不足となる地域へ配水するための加圧施設の検討も含む。</p> <p>（末端整備済みの約 200ha は対象外）</p>	1 式
5. 整備水準の策定	上記 3 及び 4 で検討した内容に基づき、計画基準（案）及び設置基準（案）を策定する。	1 式
6. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1 式
7. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。	1 式



# 耳納山麓地区

令和6年度地域整備方向検討調査  
耳納山麓地域整備水準検討業務  
位置図

